家庭科通信

48
2012
Vol.17 No.2

◆提言　家庭科教育のめざすものを実現する
新しい教科書「家庭総合」「家庭基礎」…… 3
植草学園大学　佐藤文子

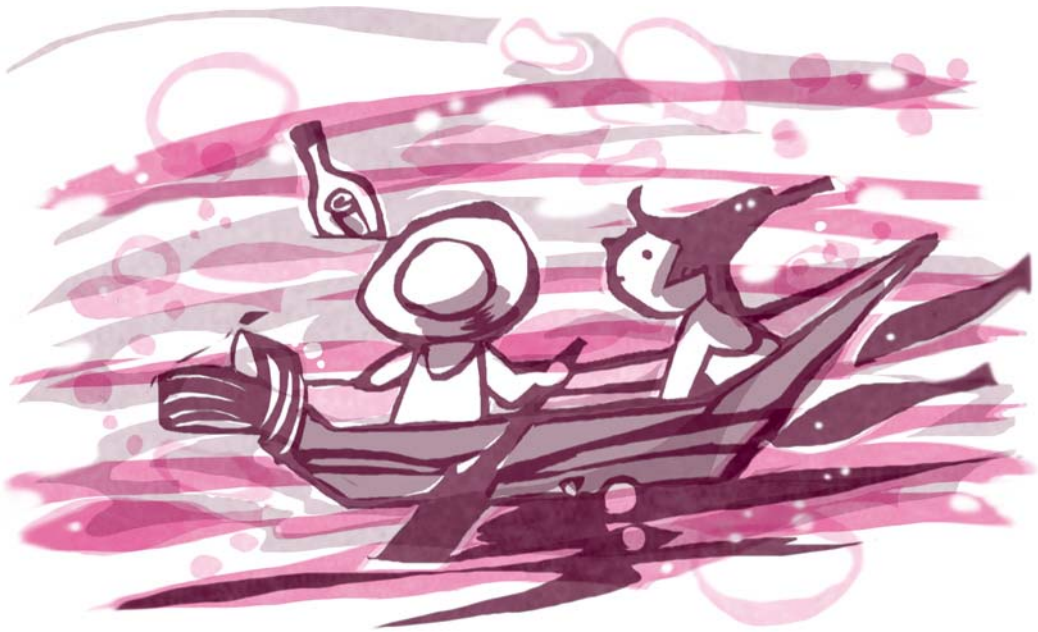
◆新しい動き　平成22年国民健康・栄養調査結果……23

◆授業に生きる1冊　「パワーアップ！　家庭科」…… 21
福井大学　荒井紀子

◆エッセイ・和のある暮らし⑫　育て，食べる楽しみ……22
石橋富士子

［DATA FILE］「高校生の生活意識と留学に関する調査報告書」より…… 2
［KeyWord］　ゲートキーパー／ハンガーマップ……25
［Question & Answer］　ディーセント・ワーク……26

◆新教科書のご案内…… 9
◆指導資料類・副教材のご紹介……17



大修館書店

DATA FILE

(財)日本青少年研究所
「高校生の生活意識と留学に関する調査報告書」より
[日本・アメリカ・中国・韓国の比較]　(2012年4月発表)

●自己肯定感や生活満足感が低い傾向にある日本の高校生

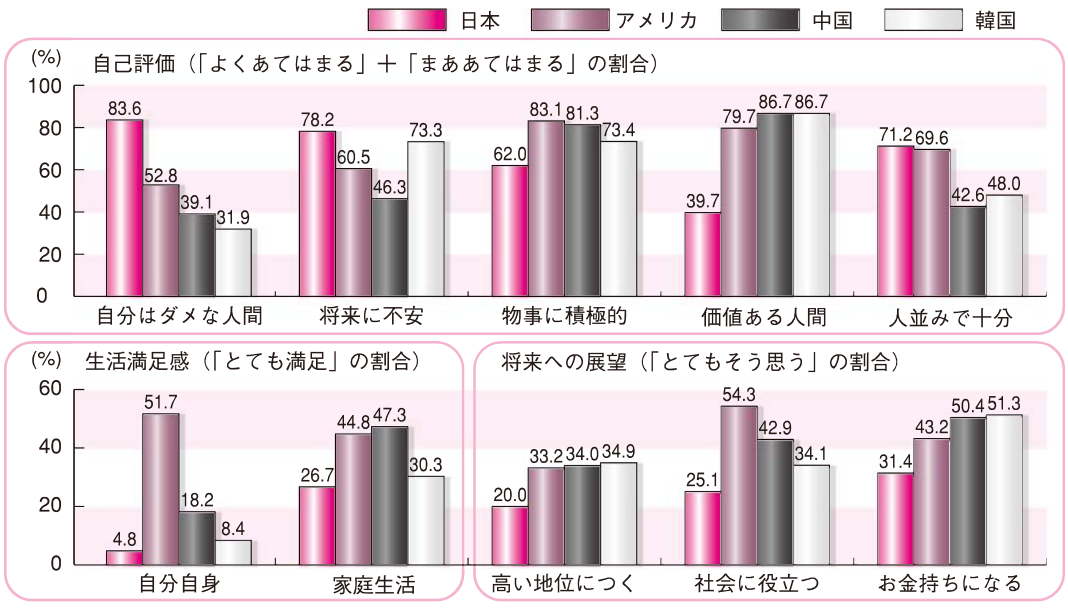
本調査は，現在の高校生の日常生活や学校生活における意識や自己認識，そして将来の展望などの把握を目的として，4か国の高校生を対象に実施された。そこから，日本の高校生像として，他の3か国(アメリカ・中国・韓国)と比べ，自己肯定感や生活満足感が低く，将来への展望が弱い，という姿が浮かび上がってきた。

自分にあてはまるかどうかを聞いた「自己評価」で，他国に比べて「あてはまる」割合の高い項目は，「自分はダメな人間だと思うことがある」(83.6%)，「自分の将来に不安を感じている」(78.2%)で，低い項目は「物事に積極的に取り組む方だ」(62.0%)，「私は他の人々に劣らず価値のある人間である」(39.7%)等であった。また，どの程度満足しているかの「生活満足感」に「とても満足している」と答えたのは，「自分自身」4.8%，「家庭生活」26.7%で，「これからどんな目標をもって生きたいか」の「将来への展望」について，「とてもそう思う」とした割合は，「高い社会的地位につく」「社会のために役立つ生き方をする」「お金持ちになる」のいずれも4か国のなかで最低となっている(▩1)。

経年変化でみると，「現状を変えようとするより，そのまま受け入れる方が楽に暮らせる」とする日本の高校生は，1980年24.7%，2002年42.1%，今回(2011年)は56.7%(「よくあてはまる」+「まああてはまる」)となり，現状維持志向が増加傾向にあることもわかった。

●調査時期・対象：2011年6～11月。日本2,458人，アメリカ1,032人，中国2,235人，韓国2,292人の普通高校生。
●調査概要は，(財)日本青少年研究所Webページ内(http://www1.odn.ne.jp/youth-study/reserch/2012/gaiyo.pdf)で閲覧・ダウンロード可能。調査報告書も発行されている。

▩1高校生の生活意識の4か国比較(日本・アメリカ・中国・韓国，2011年)



【提言】 平成25年 新学習指導要領 実施に向けて

家庭科教育のめざすものを実現する新しい教科書「家庭総合」「家庭基礎」

著者代表　植草学園大学　佐藤文子

1 はじめに

新しい教育課程にそった新しい家庭科教育のスタートのときとなった。生徒たちが自己の夢に向かっていっそう確かな生活を創ることができるようにと願い，家庭科教育に携わる一人として胸躍る思いである。

この家庭科教育のめざすものを具現化して提示できるものが教科書である。大修館書店の家庭科の教科書は，家庭科教育のめざすものを現在および将来の視点から深く追究し，また，生徒たちの自己実現という夢に寄り添って，学習の進行とともに確実に力が身についていくように配慮され構成されている。すなわち本教科書は，家庭科という教科の本質である家庭科教育で育む力を基底として，社会の変化に対応した新しい家庭科の方向性を追究し提案しているとともに，生徒が家庭科学習の重要性と必要性を十分認識し，自ら進んで学びたいという意欲をもって積極的に学習できるように教科書全般にわたって工夫している。

大修館書店で発行する新しい家庭科の教科書は「家庭総合」1種と「家庭基礎」2種である。これらの3種の教科書は，それぞれの目的にそって特色をもって編集しているが，基本方針，内容の骨子には違いがないので，本稿ではこれらの共通部分を中心に述べていくこととする。

2 家庭科教育でめざす力とは

家庭科教育でめざす力は，「自己実現を志向して生活を主体的に創造する力」である。生活を主体的に創造する力とは，生涯を通した「生きる力」に必要な家庭科の知識・技術の習得をめざすとともに，自立と共生を兼ね備えた自己の生活や社会を自ら進んで創造する実践力であり，また心身ともに健全な人間の育成をめざしたもので，人間が生きていくうえで最も重要な力であるといってよいであろう。

ここで，家庭科教育でめざす力のなかでみられる「自己実現」の意味と，「生活を主体的に創るために必要な能力」について述べてみたい。

(1)自己実現の意味

家庭科教育で育む生きる力を端的に表してみると，「自己実現を志向して主体的に生活を創造する力」といえる。

ここでの「自己実現」とは，「自らの心身の機能および潜在的な才能，能力，可能性を最大限に発

揮し，主体的に現実化していくこと」という内容が，個人的自己実現だけに向いたものではないということをまずいっておきたい。自己実現を人としての最高価値と位置づけているマスローは，上述の自己実現の意味を説明する前の部分に次のような言葉をつけ，社会的自己実現こそ真の意味で人がめざす自己実現であると述べている。それは，「他者との共生をめざして，社会的な個人・市民として，自律性や共同社会感情をもち，自らの心身の機能および潜在的な才能，能力，可能性を最大限に発揮し，主体的に現実化していくこと」と下線部の内容を強調している。

生徒にはまず，人として上記のような自己実現をおこなうことの重要性とそれを直接的に学ぶ教科として家庭科があることを理解させたい。また，自己実現に向かいやすくするために，主体的に生活を創る力を培うことが重要であることを確認させたい。本教科書では，巻頭にマスローの基本的欲求の階段を提示し，最上段の自己実現に向かうためには，各階段の基本的欲求のマスターが必要であること，またこれらのすべての階段が家庭科での教育内容をきわめて多く含んでいること，そのためにこれらの内容を家庭科できちんと習得し，生活のなかで実践していけば自己実現に力強く向かっていけることを提言している。

⑵主体的な生活の創造のために必要な能力

さて，生活を主体的に創造する力をつけるためには，どのような能力を身につける必要があるだろうか。

①生活の総合的認識，生活重視の価値観をもつ

個人の誕生から死までの生涯発達の段階，また家族の様々なライフステージの段階等，「生活の営み」はどの段階であっても必ずともなっている。すなわちそれぞれのステージにおいて，生活の営みを具体的に関連させて認識することがまず求められる。その「生活」に着目して，それぞれのステージにおける生活の営みの一つ一つをよりよいものにすることによって，確かな「自己実現」へと向かうことができるからである。

あえてこのようなことを述べるのは，生徒にとって生活は存在するのが当たり前であり，あらためて生活に着目してよりよくする努力をしないという傾向がみられるからである。生活重視の価値観をもつことが，すなわち生活を大切に扱い，自己実現に向かうことの近道であることを認識させたい。

②適切な価値判断力・意思決定能力

生活のあらゆる場面において，主体的な生活者として，周囲を配慮した価値判断のもとに意思決定ができる能力が必要である。価値判断や意思決定は，自己の思うままに勝手にすればいいというものではない。ここで思い出してほしいのは，前述した「社会的自己実現」という言葉の意味である。社会に生きる人間として，他を配慮して，他とともに生きていくために，自己の能力を十分に発揮してキラキラと輝いて生きるという自己実現の意味である。適切な価値判断や意思決定は，確たる拠り所があってはじめて自信をもっておこなうことができる。また，多くの基礎・基本を学び，己の身についた知識・技術や思考にいたらしめることである。そこに基礎・基本を確実に学ぶことの大切さがある。

③豊かな生活文化・持続可能な生活環境の創造ができる力

家庭科では，人間の生活に必要なあらゆる知識や技術を身につけて，それを実践力として表出したとき，はじめてこの教科の意図するものが完結される。この実践力を発揮するためには，発揮できるだけのもの，すなわち基本的な知識や技術，考え方等が身についていることが前提となる。また，身についているということは，生活に応用・

発展できるところまでの力になっていなければならない。社会は日進月歩の速さで変化していく。生活を主体的に創っていくためには，この社会の変化にも十分に対応していけるだけの力を身につけなければならない。つねに高いアンテナを張って必要な情報を収集し，適切なものを選択する力をつけなければならない。また，実践するための思考力も必要となる。

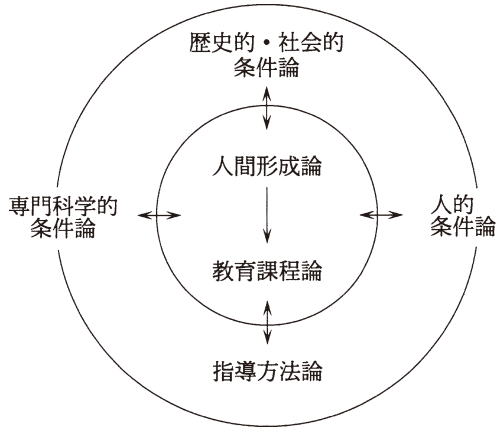
加えて重要なことは，豊かな生活文化と持続可能な生活環境を創るのは自分だという自覚と，その生活を創造していくための総合的な力をしっかりと身につけることである。

そして最後には，社会の一員としての自覚をもち，生活を創ることは豊かで楽しいことだという認識をすべての生徒にもたせることができるようにしたいものである。なぜなら楽しんでできることは持続するし，その結果大きな力となるものだからである。

3 – 家庭科教育が教科として担う人間形成とは

少し難しく感じられるかもしれないが，家庭科がなぜ教科の一つとして存在しているのかをちょっとだけ考えてみよう。このことは教科理論あるいは教科の本質論といわれるものである。家庭科は社会科や理科のように一つの教科として存在している。すなわち学問としては教科教育学に属するものである。それぞれの教科教育学は各科教科教育学といわれ，家庭科教育学を構造的に表したものが「家庭科教育学の構造モデル」(▩1)である。それを見ると，最も中核にあるのが「人間形成論」である。この人間形成論は今のところ統一されてはいないが，基本的な方向として，「よりよい生活環境を創造できる人間」の形成ととらえられている。ここにおける生活環境とは，家族・保育・衣・食・住・経営・消費・環境等，非常に幅広い

▩1 家庭科教育学の構造モデル



(藤枝憲子編著「家庭科教育学研究の構想」家政教育社，1998年などより)

人間を取り巻く総合的な環境であり，それをよりよくしようとする人間であるといえる。もう少し加えるならば，このような生活環境を総合的に価値あるものにするために，情報を駆使し，問題点を明らかにし，何に価値判断を求めるかによって，意思決定を主体的におこない，実践するなかでその効果や欠点を評価し，更なる人間的な発展を期することができるような生活を創造する人間である。家庭科教育学は，このような人間を形成するために存在しているといえる。

端的にいえば，つねによりよい生活を創ろうとする主体的な人間を形成することが家庭科の求められているものといえる。本教科書は，学んでいくうちに，この人間形成力を保持した人になっていく可能性を大きく含んだ内容になっている。

4 – 教育課程の基準の改善の基本的な考え方と家庭科教育における改善の基本方針

家庭科教育で育む「生きる力」を考える際に，その大本となる家庭科の教科教育としての役割を再確認する必要がある。家庭科は他の教科とともに，児童・生徒の人間形成に資する重要な役割を担っている。よりよい人間形成の具体的な内容を追究

するためには，つねに最も新しい教育の方向性を的確に把握して教科を構築していく必要がある。60有余年ぶりに教育基本法(平成18年12月22日)，翌年の学校教育法(平成19年６月27日)が改訂され，教育課程の基準の改善の方向性が示された。そこで，教育課程の基準の方向性と家庭科教育の基本方針とのかかわりについてみていきたい。また，この家庭科教育の基本方針が新しい家庭科にどのように反映されているか，教科書がどのように具体化して生徒に伝えようとしているかについてもみていきたい。

⑴教育課程の基準の改善のねらい

前述の１～３に掲げた家庭科教育の理論的背景は，不易と流行でいえば不易，すなわちどのように時代が変わっても重要な家庭科教育の根本的なものであるが，社会の変化とともに見直すべき内容があることも事実である。教育課程の基準の改定に当たっては，教育の根本にさかのぼった教育基本法，学校教育法の改正等をふまえた審議がおこなわれ，次の内容を教育課程の基準の基本的な考え方として，各学校段階や各教科等にわたる学習指導要領の改善の方向性が示された。

主たるものを挙げると，①改正教育基本法をふまえた学習指導要領の改訂，②「生きる力」という理念の共有，③基礎的・基本的な知識・技能の習得，④思考力・判断力・表現力等の育成，⑤学習意欲の向上や学習習慣の確立，⑥豊かな心や健やかな体の育成のための指導の充実，等である。

以上の改善の方向性をふまえて，平成23年４月からの実施(まず小学校，24年中学校，25年高等学校)に向けて，学習指導要領の改訂がおこなわれた。

⑵家庭科の改善の方向性

平成20年１月の中央教育審議会の答申において，各教科別の主な改善事項が示された。家庭科の改善の主たる基本方針は次のようになっている。

①自己と家庭，家庭と社会とのつながりを重視し，生涯の見通しをもって，よりよい生活を送るための能力と実践的な態度を育成する視点から，子どもたちの発達の段階をふまえ，小中高といった学校段階に応じた体系的な目標や内容に改善する。

㋺少子高齢化や家庭の機能が十分に果たされていない状況に対応し，家族と家庭に関する教育と子育て理解のための体験や高齢者との交流を重視する。そして，心身ともに健康で安全な食生活のための食育を推進するため，食事の役割や栄養・調理に関する内容をいっそう重視する。並びに，社会において主体的に生きる消費者を育む視点から，消費の在り方および資源や環境に配慮したライフスタイルの確立をめざす。

以上のように，家庭科教育では，家族関係，保育，衣食住といった教育内容を理解することにとどまらず，実践化するところを到達点とすることをめざし，生涯設計のなかで高校生の今をいかに生きるか，ということを学習させることが求められる。また，少子高齢化などの社会の問題や地球環境に影響を及ぼす持続可能な社会の構築という大きな課題まで，生きる力として備えるべき力をいっそう明確にした方向を示している。

5 ―― 大修館書店の家庭科教科書の特徴

大修館書店の教科書は，以上１～４の理論的内容をふまえて，目標達成に向けて盛り込むべき内容を的確に選択・判断し，生徒の実態を十分考慮してつくられたものである。

主たる具体的な本教科書の特徴を挙げてみる。

①家庭科教育がめざす力の実現

自己実現を志向して生活を主体的に創造する力

をつけることを教科書全般にわたって配慮している。前述したように，この力が家庭科教育でめざす最も重要な力であり，本教科書は，最初のページから最後のページにいたるまでこの方針が貫かれている。

また，的確な価値判断や意思決定ができるための知識や考え方，あるいは実践することができる技術を確実に身につけることをモットーとして編集されている。基礎的・基本的な知識や考え方の学習の手助けはもちろんのこと，さらに発展させて的確な判断ができるように幅広くより深くかつ役に立つ情報等を網羅させている。ここで学んで身についた知識や考え方は，必ずや適切な価値判断や意思決定ができる人間を育ててくれると考えられる。

②男女がともに創る家庭や社会へ

男女がともに理解し合い，協力し合って，これからの家庭や社会を築くことをめざす内容にしている。

たとえば男女共同参画社会における家庭と社会の創造について取り上げたり，いろいろな職業や働き方を具体的な形で取り上げたりして，家族のなかでもそれぞれの自己実現を互いに支え合ってめざしていく内容になっている。

③あらゆる人がともに生きる生活

子どもや高齢者，障がいのある人々とのかかわりや福祉について考え，ともに生きる生活を築く内容にしている。

①と同様に教科書全般にわたって，ともに生きるという福祉の思想が貫かれている。福祉の面でも具体的に細やかな配慮を心がけ，たとえば高齢者等の介護においては，その人らしさを尊重する支援等について取り上げている。

**④基礎・基本の徹底とともに
社会の変化に対応して生活を築く確かな力**

社会の変化に対応して，自立した生活を創るために必要な基礎的・基本的な知識・技術を確実に身につけることができる内容にしている。

本教科書は理論を土台にして，基礎的・基本的内容が確実に網羅され，系統的に配列されており「確かな力が着実に身につく教科書」ということを自信をもっていうことができる。「家庭総合」の各章の扉には，なぜその基礎的・基本的知識や技能を身につけることが大切かという内容をふまえて，人の生涯発達の視点から幅広い知識と教養への示唆を与えている。

⑤生活文化の継承と創造の担い手に

歴史のなかで培ってきた衣食住に関する生活文化を学び，自ら文化の継承と創造の担い手になる内容になっている。

改正教育基本法では，伝統と文化の尊重をうたっている。特に高等学校家庭科で生活文化を学ぶことは，今までの文化を継承し，また新しい生活文化を創造する力をつけるため，さらに異文化共生社会のなかで，他の人々を尊重して国際的な文化を創っていくためにもきわめて重要なことである。本教科書では，生活文化を家庭や地域，国際的な視点から幅広く取り上げるとともに，日本の行事食や衣文化・住文化等を歴史および必要性や豊かさの視点から学び，これからの文化の発展に寄与できるように深く学べるようにしている。また，我が国が歴史的に育んできた「つくる文化」の大切さも取り上げている。

⑥持続可能な社会の創造と環境保全

持続可能な社会をめざして，地球規模での環境保全と身近な生活とのかかわりについて考え，実践することをめざす内容になっている。

また，持続可能な社会の構築をめざすために，環境基本法等様々な法律について学び，生活を見直し改善すること等を取り上げている。さらに環境に配慮した地域生活の視点について考えさせている。

⑦生活課題の発見とそれを解決する学び方

自らの生活課題を見出し，主体的に解決する学習方法を重視し，実際に解決できる力が身につくように教科書全般を通して構成されている。

⑧適切な価値判断と意思決定能力の育成

適切な意思決定ができるように意思決定のプロセスを学ぶとともに，決定に際しての価値判断に必要な的確な資料等を豊富に用意した教科書にしている。

⑨経済生活を築くための力の育成

生涯を通して確かな生活を築くために必要な経済計画について多面的・具体的に取り上げている。

以上のような基本方針をもって，よりよい教科書づくりに取り組み，着実で確かな教科書となっている。また，生徒が興味・関心をもって学べるように，各章の扉や口絵でイメージを膨らませたり，的確なイラストや写真を多く掲載している。また，学習のねらいの把握ができるように「学習のねらい」をきちんと位置づけている。家庭科の特性である実践的・体験的学習がしやすい工夫が各所にしてあり，問題解決的学習については，編集方針で述べたとおりである。さらに多くの的確な資料の掲載は，本教科書の特徴を表しているものとして，従来より定着しているといえるだろう。

6 おわりに

以上のように，本教科書は，家庭科の本質論をしっかりと土台におき，家庭科教育がめざす力の育成が十分できるように教科書全般にわたって配慮した内容となっている。生徒が生涯を見通して「生きる力」を培ううえで，家庭科学習はとても大切なものとして認識し，期待をもって主体的・意欲的に家庭科の学習に取り組めることができるように，編著者一同最善を尽くしてつくりあげたものである。生徒がこの教科書を手にとって学ぶことにより，確実で豊かな生活を築く力を身につけることができると自信をもってお勧めすることができる。生徒が夢に向かって力強く生活を創ることができる力を培うために，これらの教科書をぜひ有効にご活用いただきたい。

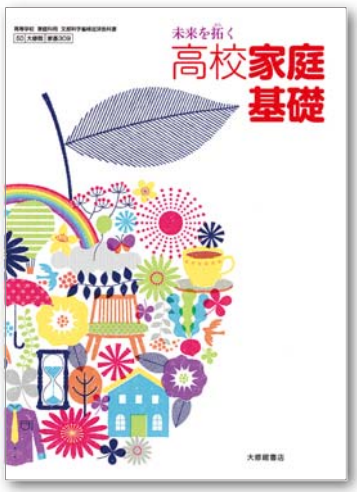
家総305
家庭総合
豊かな生活をともにつくる

B5版・228ページ・オールカラー

家基308
家庭基礎
豊かな生活をともにつくる

B5版・180ページ・オールカラー

家基309
未来を拓く
高校家庭基礎



B5版・192ページ・オールカラー

新教科書のご案内

2013(平成25)年4月施行
新学習指導要領準拠・文部科学省検定済

家庭総合 [家総 305]
豊かな生活をともにつくる

家庭基礎 [家基 308]
豊かな生活をともにつくる

[家庭 309]
未来を拓(ひら)く **高校家庭基礎**

家庭科の先生方

新学年のスタートに際し，授業計画の立案や教材選定にお忙しい日々をお過ごしのことと存じます。

さて，来年度からいよいよ新学習指導要領が施行されますが，それに準拠した新しい教科書がようやく完成いたしました。

小社は，「家庭総合」1冊，「家庭基礎」2冊の計3冊の教科書を発行いたします。いずれの教科書とも＜生徒にとって学びやすく，教師にとって教えやすく＞を第一に編集をいたしました。各校営業担当者が見本本をお届けにあがりますので，ぜひお手に取ってご覧ください。

さらに，毎日のご授業を強力にサポートする教師用指導書，評価問題例集，準拠版学習ノートも揃えております。詳しくは，見本本とともにお届けいたします教師用指導書パンフレットをご覧ください。

「現場のニーズを第一に」。先生方からのお声の数々とともに，真に現場に根ざした教科書づくりに取り組んでまいる所存です。どうぞ変わらぬご指導・ご愛顧ほど，よろしくお願い申し上げます。

from　大修館書店 家庭科編集部

未来の自分をみつけにいこう

高校生という
独り立ちを目の前にした
時期だからこそできる学び。
家庭科を通して，生活を，地域を，社会を
そして未来をつくる力を着実に身につけていってほしい。
そんな願いを込めて編集いたしました。

大切に思うこと，育てたい力

1 生活観の確立ができるように

生活は，毎日毎日繰り返される小さな営みですが，その小さな営みのなかで起こる変化や問題によって，人生は小さく，ときに大きく変わっていくものです。高校生が高校生という時期に，将来の自分を想像しながら生活について学び，自分なりの生活観を確立できることは，人生のさまざまなできごとを力強く乗り越えていく強さにつながると考えます。

2 自立や共生ができるように

男女共同参画社会の一員として男女が協力して家庭や社会を築くこと，ノーマライゼーションの意識をもって世代や国籍，障がいの有無を超えて共生すること，地球に生きる者として環境に配慮した生活を営むことなど，生活者として自立や共生ができる能力を育てたいと考えます。

3 課題をみつけ，解決できるように

学習していることと生活とが結びついていることが実感できると，学びがさらに充実し，実習や実験，体験的な学習を通してこそ，生活の課題を積極的に改善・充実できる知識や技術が身についていきます。教科書に収録された小さな課題に挑戦し，問題解決能力を養い，ぜひ，その力を家庭で，学校で，地域で，社会で発揮してもらいたいと思います。

編集の基本方針

1 基礎基本が確実に習得できるように

国際化，情報化，少子高齢化，価値観の多様化といった，すべてが時々刻々と変化する現代に生きる高校生にとって，健康で文化的な生活を築いていくために必要な基礎的・基本的な知識や技術とは何か。この問いをつねに繰り返しながら，家庭科が対象とする幅広い学習内容から基礎・基本事項を精選しています。

2 興味関心をもって学べるように

生徒自身が興味関心をもって学べるよう，本文記述を補足説明する側注，学習の理解に役立つ適切な図表，コラムや課題をもうけて，自分の考えを広げたり発展させながら，より深く学習できる工夫をしています。

3 学習効果が高まるように

オールカラーの美しい配色，視線の混乱が少ないレイアウト，豊富なイラストや写真で，学習効果がさらに高まるようにしています。

家庭総合
[家総３０５]
＊
豊かな生活をともにつくる

▶家庭や地域の生活をマネジメントする能力を育てることを重視し，家庭や生活の営みにかかわる知識と技術を，総合的に，分野にかたよりなくバランスよく学習できるように構成しました。

＊現行版＊
家庭０３７
新家庭総合
生活の創造をめざして
の後継です

Ｂ５判・228 頁・オールカラー

家庭基礎
[家基３０８]
＊
豊かな生活をともにつくる

▶自立して生活する能力と異世代とかかわりながらともに生きる能力を育てることを重視し，家庭や生活にかかわる基礎的・基本的な知識と技術を，分野にかたよりなくバランスよく学習できるように構成しました。

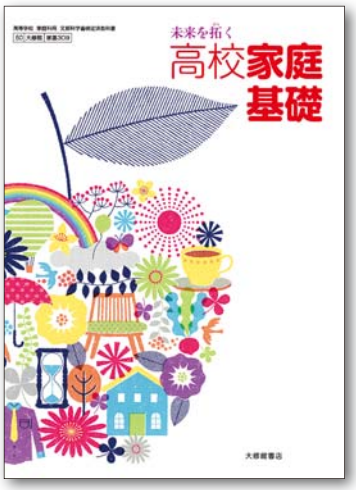
＊現行版＊
家庭０４６
新家庭基礎
生活の創造をめざして
の後継です

Ｂ５判・180 頁・オールカラー

未来を拓く
高校
家庭基礎
＊
[家基３０９]

▶自立した生活を営み，人々とともに生きる能力を育てるために，家庭や生活の基礎的・基本的な知識と技術を確実に身につけることを第一に考えました。１時間の授業で学ぶ内容を１項目（見開き）で構成しています。

＊現行版＊
家庭０４７
明日を拓く
高校家庭基礎
の後継です



Ｂ５判・192 頁・オールカラー

家庭総合
家庭基礎
紙面見本

[家総 305]
豊かな生活をともにつくる

[家基 308]
豊かな生活をともにつくる

縮小倍率 59 %
＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

家庭総合 p.56 ～ 57
家庭基礎 p.44 ～ 45

point 1
見開きもしくは１ページで学習内容をまとめています。学習内容の区切りがつけやすく，授業計画が立案しやすくなっています。

point 2
記述は，生徒の日常生活に身近な話題をきっかけに，重要なことがらをおさえつつ学習を徐々に深めていける展開にしています。

point 3
図表やコラム，側注などの補助教材は，スペースの許すかぎり，数多く収録しています。教科書１冊でも毎日の授業に対応できます。

point 4
図表に配置しているイラストは，高校生が親しみやすいものを選びました。色づかいも鮮やかに，学習の理解を促します。

＊呼びかけ＊
これから学習すること，今，学習していることが，自分の生活に深く関係していることをつねに意識できるように，タイトルは「呼びかけ型」にしました。また，本文も「私は～」「あなたは～」と，呼びかけや問いかけを随所に織り交ぜています。

＊体験的学習の充実＊
実験・実習課題の「Practice」，ミニ課題「Try & Hint」，そして章末課題「学習を生活にいかそう」に取り組むことで，学習が生活と関係しているという実感がもてます。実践的な学習はもちろん，小論文などの課題にも最適です。

1 高齢者の生活をみつめよう

高齢期に生じる生活課題は何だろうか。高齢期を充実させるためには，どのようにしたらよいだろうか。そして，まわりの高齢者と，どのようにかかわっていったらよいか考えてみよう。

1 生涯発達と高齢期

＊❶ 高齢者　社会的には65歳以上の人を高齢者という。さらに，65～74歳を前期高齢者，75歳以上を後期高齢者と区分する。

1 平均寿命の国際比較

(厚生労働省「簡易生命表」)

1 高齢期という時期

2065年ころには，今は高校生のあなたも高齢者と呼ばれる年齢になり，高齢期（老年期）を迎える。私たちは，ある日突然に高齢者になるのではない。日々の生活が，連続し，積み重なって生涯発達の完成期として高齢期を迎える。高齢期は，それまでの生活の統合の時期であると同時に，新しい生活の形をつくり出す時期でもある。平均寿命の延びとともに，高齢期は20年近くにもわたる長い時間となっている。それは，やり残したこと，次なる目標に挑戦するのにじゅうぶんな時間である。

2 私たちと高齢者

私たちは高齢者を「支援の必要な人」と思ったり，高齢期を「何かを失う時期」と思い込んではいないだろうか。

身近な高齢者を思い浮かべてみよう。人生で培ってきた思慮深さや寛容さ，経験や技術をいかして活躍する高齢者は本当に多く，その力に，私たちは育てられ，助けられてもいる。私たちは，充実した生活を送る高齢者からさまざまなことを学ぶとともに，高齢期の課題とその解決方法を考えていこう。

FOLLOW UP エイジズム

エイジズムとは，高齢期の心身の機能低下への無理解や蔑視，高齢者の能力が現代社会には通用しない，などの一方的評価による高齢者差別のことをいう。それは，就労機会の制約，高齢者に配慮のない生活環境，医療・年金・介護などの社会制度の貧困などにあらわれる。

2 高齢期を生きる

try! 現在，世界的に活躍している高齢者や歴史上に名を残した高齢者にはどのような人がいるか名前をあげてみよう。

hint! その高齢者がどのような人生を送ってきたかも調べてみよう。

56 第3章 高齢期を生きる

資料の豊富さはトップクラス!!

2 高齢期の心身の特徴と生活

＊❶ このほか，体温調節機能が低下して脱水症状が起こりやすい，バランス調整力が低下して転倒しやすい，などがある。特に，夏の高温・高湿度下では熱中症にかかり，命を落とす危険がある。

＊❷ **結晶性知能** 人間の知能は，結晶性知能と流動性知能に分けられる。結晶性知能は，技術や経験をもとにものごとを解決する能力，流動性知能は，記憶力や判断力，計算など，瞬時にものごとを判断する能力である。

＊❸ **健康寿命** 日常的に介護を必要としないで，自立した生活ができる生存期間のこと。WHOが2000年に公表したことばで，平均寿命から自立した生活ができない期間を引いた年数が健康寿命になる。2000年のWHOの報告書では，日本人の健康寿命は男性72.3歳，女性77.7歳で世界第1位であるが，平均寿命と比べるとやや短い。健康寿命をいかに平均寿命に近づけるかが，これからの高齢社会の課題である。

1 体の変化・心の変化

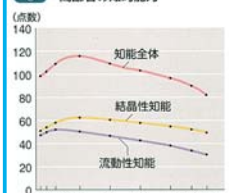
私たちの心身は，加齢とともにその形態や機能が変化する。個人差はあるが，75歳以上になるとその変化が大きくあらわれる場合が多い。たとえば，視力や聴力，筋力や骨の強度，免疫力，記憶力や瞬時の判断力，環境の変化への適応力といった機能が低下してくる。そうした心身の変化をうまく受け入れられずに自信を失ったり，孤独感をもってしまうこともある。

一方で，結晶性知能は加齢による低下があまりみられず，自立した生活で主体的に問題を解決したり，積極的な社会活動を続けることで，それはさらに高度な能力（**知恵**）になっていく。人生の成熟期に知恵をいかして活躍する高齢者はたいへん多い。

2 心身の変化への対応

加齢にともなう心身の変化はだれにでも生じる。そこには，若いときからのライフスタイルが大きく影響し，始まる時期や生じる部位，速度には大きな個人差がある。高齢者にとって心身の健康維持は大きな課題である。定期的な健康診断，バランスのとれた食事，体力に応じた運動の継続，趣味や社会参加の機会をもつことによって**健康寿命**を延ばす努力が大切である。

3 高齢者の知的能力



(下仲順子編著「現代心理学シリーズ14 老年心理学」)

4 知恵

理解力，洞察力，ものごとの判断力，調整能力，コミュニケーション能力，アドバイス，他者理解，自己理解，内省力

FOLLOW UP 実は少ない，介護の必要な高齢者

あなたは，介護の必要な高齢者がどのくらいいるか，知っているのだろうか。実は，介護が必要な高齢者は少ない。65歳以上の高齢者のうち，介護保険制度(→p.63)で介護が必要な「要介護」と認定された高齢者は約16%である。75歳以上になると，たしかに介護の必要な高齢者は増えるが，それでも7割の高齢者は健康に留意しながら，自立して生活している。

5 介護の必要な高齢者の割合

	65歳以上	65~74歳	75歳以上
合 計	16.0(%)	4.3(%)	29.2(%)
要支援	4.2	1.2	7.6
要介護Ⅰ	2.7	0.7	5.0
要介護Ⅱ	2.8	0.8	5.0
要介護Ⅲ	2.5	0.7	4.6
要介護Ⅳ	1.3	0.5	3.6
要介護Ⅴ	1.7	0.4	3.2

[注]各年齢階の高齢者数を100としたときの割合。
(厚生労働省「平成20年度介護保険事業状況報告」)

＊側　注＊

学習の理解に役立つよう，用語解説や補足説明をていねいに詳しく掲載しました。

＊ FOLLOW UP ＊

読みものを中心に本文と関連の深いトピックスを集めた「FOLLOW UP」は，生徒の興味関心をさらに広げます。

＊豊富な資料＊

教科書1冊で，一通りの学習ができるよう，授業でよく使われている資料を中心に満載しました。グラフは，可能なかぎり数値を掲載してありますので，的確に傾向を読み取ることができます。

未来を拓く　[家基 309]

高校家庭基礎
紙面見本

縮小倍率 59 %

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

p.150 ～ 151

point 1
見開き（1 title）＝1時間（1 unit）。1時間の授業内容を見開きで展開。授業計画の立てやすさ，学習の効率のよさが際立ちます。

point 2
「基礎・基本を着実に」。かぎられた時間内で家庭科全分野が学習できるように配慮しました。

point 3
実習課題「TRY & HINT」に取り組むことで，学習していることと生活とが深くかかわっていることを直感的に理解できます。

point 4
図表は，重要資料を厳選して収録しています。巻末「資料編」の資料と合わせれば，［家基 308］に匹敵する資料数です。

＊基礎・基本を確実に＊

基礎・基本を確実に身につける。これを第一に考えました。学んで欲しいこと，身につけて欲しいことを精選し，見開き＝1時間にまとめて展開しています。ページ上には毎時間の学習内容をイメージしたイラストを配し，読みやすい文字，イラストや写真で構成した図表など，親しみやすい紙面づくりを心がけました。

＊実践的な学習を充実＊

見開きに一つ登場するミニ課題「ワーク」と章末課題「学習を生活にいかそう」に取り組むことで，学習が生活と関係しているという実感がもてます。実践的な学習はもちろん，小論文などの課題にも最適です。

1 生活が環境に及ぼしている影響を考える

1 私たちの生活と環境問題

今あなたは，毎日の生活でどのくらいの量の電気やガス，水を使用しているだろうか。

私たちの生活は，自然を基盤として成り立っている。私たちは，便利で快適な生活や経済的に豊かな生活をめざすあまり，大量の資源やエネルギーを用いて**大量生産**されたものを**大量消費**してきた。その結果，容器包装や食べ残し，使わなくなったものなどのごみ，調理・洗濯・入浴・水洗トイレなどからの生活雑排水などの**大量廃棄**の問題，かぎりある資源・エネルギーの枯渇，大気汚染や温暖化のような気候変動など，環境に大きな負荷を与えている。

近年では，海外から輸入される原材料や製品も少なくない。海・空は全世界につながっている。私たち一人ひとりのライフスタイルの選択，一つひとつの具体的な行動が，身近な環境だけでなく地球規模の環境に

1 日常生活における環境負荷の例

自動車　2.2人に1人が乗用車を保有　一世帯当たりガソリン代 52,100円／年

一人当たり衣類 100枚以上を所持（学生）　洗濯　家庭で使う水 一人当たり245L／日　洗濯用合成洗剤使用量 一人当たり約16g／日

買い物　一人当たり衛生用紙の消費量39g／日　一世帯当たり 非耐久財・半耐久財134万円／年 耐久財　18万円／年

一人当たり供給量 2,473kcal／日　食事

電気製品の利用　一世帯当たり，主要家電製品 約18台を保有　電気消費 一世帯当たり 289kWh／月 一世帯当たり約9.9万円／年

うち廃棄食料 一人当たり606kcal／日 …供給量の約1/4

ごみの排出量 一人当たり1,033g／日　ごみ処理事業経費 一人当たり18,200円／年

修繕サービス代（住居・車両関係以外） 約6,300円／年

うち容器包装ごみ 一人当たり212g／日

［注］2007～2009年の統計より試算。衛生用紙：ティッシュペーパーやトイレットペーパーなど。非耐久財：食料などの消耗品。半耐久財：衣類など耐用年数の短いもの。耐久財：家電製品など耐用年数の長いもの。

（環境省「環境白書」，総務省「家計調査年報」などより）

2 部門別二酸化炭素排出量の割合（2007年）

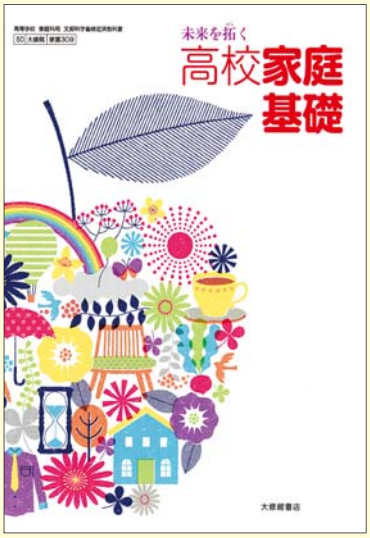
（環境省「環境統計集」2010年）

ワーク

Try　■あなたの住む地域のごみ事情を調べてみよう。現在とこの10年間の変化を調べて比較してみよう。

Hint　■ごみの量・内容・処理方法・処理費用（税金からの支出）の現状がどうなっているか，自治体の広報資料等を参考にしてみよう。

150……第9章……持続可能な社会をつくる



授業計画が
立てやすい，
見開き＝１時間

学習のねらい

▼現在の消費生活が環境に与えている影響を理解しよう。
▼社会の変遷と環境とのかかわりについて考えよう。
▼自分自身の生活を地球環境とのかかわりからとらえ直し，環境に調和したライフスタイルを実践しよう。

環境

も影響を及ぼしているのである。

2 循環型社会・低炭素社会を実現するライフスタイル

自分自身の生活が，どのくらい環境負荷を与えているか考えたことがあるだろうか。一般廃棄物や水質汚染物質*❶，地球温暖化のおもな要因といわれている二酸化炭素排出などの発生源として，家庭の占める割合は少なくない。

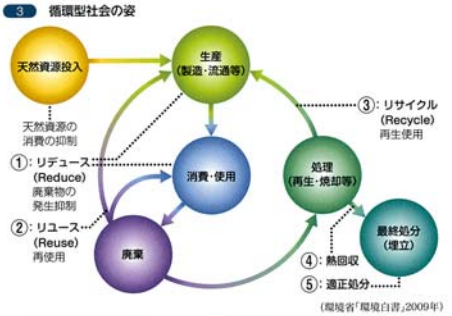
かぎりある資源を有効に用いるためには，資源を循環させることが不可欠である。「大量生産・大量消費・大量廃棄」型の生活を見直し，新たな資源の投入を抑え，廃棄物をなるべく少なくする「**循環型社会**」の構築が求められている。

二酸化炭素排出の少ない**低炭素社会**を実現するには，エネルギー消費量の削減が必要である。まずは今の生活を点検し，**エコライフ***❷をめざして具体的に取り組んでみよう。→p.187

*❶ 一般廃棄物に占める生活部門（家庭）からの割合は71%（2008年度），水質汚染物質では53%（2004年）となっている（環境省「環境統計集」2010年）。

*❷ **エコライフ** エコロジカル（環境に調和した）ライフスタイル（生活様式）のこと。

3 循環型社会の姿



（環境省「環境白書」2009年）

図の①～⑤は，私たちがとるべき行動の優先順位で，循環型社会の基本枠組みを定めた循環型社会形成推進基本法（2000年制定）に明記されています。①の前に「ごみになるものは断る（リフューズ：Refuse）」ことが，さらに廃棄物の発生抑制につながります。リデュース，リユース，リサイクルを３Ｒと呼び，リフューズを加えて４Ｒ，リペア（Repair：直す）を加えて５Ｒとすることもあります。

コ＊ラ＊ム

MOTTAINAI（もったいない）

ものは多様な資源からつくり出されている。「もったいない」は，ものや資源をできるかぎり有効に活用しよう，という気持ちから発せられることば。

「持続可能な開発と民主主義・平和への貢献」からノーベル賞を受賞（2004年）した前ケニア環境副大臣のワンガリ・マータイさんにより，日本の「もったいない」精神にもとづいた生活が，価値あるライフスタイルとして再発見され，「MOTTAINAI」ということばで海外にも紹介されている。あなたのまわりの「もったいない」精神にもとづいた生活の例にはどのようなものがあるか，考えてみよう。

＊図表の読み取りも確実に＊

図表にイラストを配置したり，フローチャートで視覚的な理解が得やすいように工夫しています。
また，図や表からどのようなことが読み取れるのか，「スターくん」がやさしく，ていねいに解説します。

＊コラム＊

読みものを中心に本文と関連の深いトピックスを集めた「コラム」は，生徒の興味関心をさらに広げます。

Cooking 調理実習

家庭総合…… 家総 305

● **日本料理の献立**
さつまいもご飯，麸とみつばのすまし汁，ぶりの鍋照り焼き，青菜のごま和え

● **西洋料理の献立**
若鶏のソテー・トマトソース，コーンクリームスープ，ツナビーンズサラダ

● **中国料理の献立**
炒飯（焼きめし），番茄木耳湯（トマトときくらげのスープ），青椒肉絲（ピーマンと肉のせん切り炒め），杏仁豆腐（牛乳かん）

● **正月料理三種**
だて巻き，煮しめ，紅白なます

● **デザート三種**
プリンアラモード，チョコバナナマフィン，どら焼き

● **軽食の献立Ⅰ**
親子どんぶり，野菜の浅づけ

● **軽食の献立Ⅱ**
ベーコンクリームパスタ，ガーデンサラダ

● **お弁当**
おにぎり，鶏のから揚げ風，厚焼き卵

● **環境に配慮した調理**
ドライカレー，イタリアン卵スープ

家庭基礎……家基 308

高校家庭基礎……家基 309

● **日本料理の献立**
ご飯，わかめととうふのすまし汁，肉じゃが，きゅうりとしらすの酢のもの

● **西洋料理の献立**
めかじきのハーブパン粉焼き，コンソメジュリエーヌ，ブラマンジェ

● **行事食の献立**
ちらしずし，茶わん蒸し

● **デザート三種**
フルーツあんみつ，チョコバナナマフィン，どら焼き

● **環境に配慮した調理**
レタスチャーハン，ゆで鶏とザーサイのサラダ，ジンジャースープ

● **軽食の献立Ⅰ**
親子どんぶり，野菜の浅づけ

● **軽食の献立Ⅱ**
ベーコンクリームパスタ，ガーデンサラダ

Sowing 被服実習

● **ハーフパンツ**
スリットの入ったパンツ

● **ベスト**
えりつけ，バイアステープ処理の入った本格派ベスト

● **ペットボトルカバー**
小物ですが，被服製作が一通り学べるおすすめの題材

小社の家庭科教科書は，毎年可能なかぎり，法律や制度の改正，社会状況の変化等を反映した記述等の変更，統計資料のデータ更新をおこなっております。鮮度が命の家庭科。いつも最新の状態でお使いいただけるようにしています。

指導資料類・副教材のご紹介

教科書を
フォローアップ！
毎日のご授業を
バックアップ!!

現行版同様，充実の指導資料と副教材を揃えています。

＊3冊の教科書とも同じ商品構成です。詳しくは，各教科書ごとの「指導資料類のご紹介」パンフレットをご覧ください。

家庭総合　豊かな生活をともにつくる　家総 305

①教授用指導資料・授業展開編
［体裁］B5判2色刷　各冊40～168頁
②教授用指導資料・教科書解説編
［体裁］B5判2色刷　224頁
③教授用参考資料
［体裁］B5判1色刷　224頁
④評価問題例集
冊子：［体裁］B4判1色刷　112頁
CD-ROM：1枚・Windowsのみ
⑤学習ノート
生徒用：［体裁］B5判1色刷　144頁／［予価］570円
教師用：［体裁］B5判2色刷　144頁

家庭基礎　豊かな生活をともにつくる　家基 308

①教授用指導資料・授業展開編
［体裁］B5判2色刷　各冊40～120頁
②教授用指導資料・教科書解説編
［体裁］B5判2色刷　176頁
③教授用参考資料
［体裁］B5判1色刷　176頁
④評価問題例集
冊子：［体裁］B4判1色刷　96頁
CD-ROM：1枚・Windowsのみ
⑤学習ノート
生徒用：［体裁］B5判1色刷　112頁／［予価］570円
教師用：［体裁］B5判2色刷　112頁

未来を拓く　高校家庭基礎　家基 309

①教授用指導資料・授業展開編
［体裁］B5判2色刷　各冊40～112頁
②教授用指導資料・教科書解説編
［体裁］B5判2色刷　176頁
③教授用参考資料
［体裁］B5判1色刷　160頁
④評価問題例集
冊子：［体裁］B4判1色刷　96頁
CD-ROM：1枚・Windowsのみ
⑤授業ノート
生徒用：［体裁］B5判1色刷　144頁／［予価］570円
教師用：［体裁］B5判2色刷　144頁

教授用指導資料

授業展開編

分野ごとの９分冊。授業計画案，教科書内容解説，板書例，図表の解説，課題の解説など，授業実践にかかわる情報を網羅して提供します。

１　家庭総合（家庭基礎）の展開／２　人生・家族／３　子ども／４　高齢期・共生社会／５　経済生活／６　食生活／７　衣生活／８　住生活／９　環境／生活設計

教科書解説編

教科書縮小を中央に配し，用語解説や図表の読み取りせかた，注目すべき表現等について解説します。

教授用参考資料

用語解説を中心に，学習にかかわる事項を専門的に解説します。

▲授業展開編「授業計画案」

▲授業展開編「教科書内容解説」「板書例」

◀教科書解説編

[家総 305] [家基 308]　[家基 309]

学習ノート・授業ノート

教科書準拠の学習ノート。自学自習・理解度チェック・まとめに最適。解答として教師用をご用意。

2　家族・家庭をみつめよう　教科書 p.16~19

1　現代の家族・家庭 ①

1 基本 家族について，以下の問いに答えよう。

(1)　次の（　）に当てはまる語句を記入しよう。

家族とは，「(①　　) という一組の男女を中心として，その近親の血縁者が (②　　) をともに生活している小集団」と一般に考えられてきた。しかし家族は，時代により，社会により，そのありかたや中心となる（①）の結びつきかた，いっしょに住む人の構成などが (③　　) していくものである。近年では，核家族[a]，直系家族[b]といった家族構成のほか，(④　　) や (⑤　　) の関係で（②）を別にしているなどの住まいかた，事実婚cや養親・養子関係などのように (⑥　　) や (⑦　　) はないが（②）や (⑧　　) をともにしている関係といった結びつきかたなど，家族の形やありようはさまざまである。

最近の日本の家族の動向をみる場合，統計上は「住居と生計をともにしている集団」である (⑨　　) によって把握することが多い。

(2)　下線部a,b,cのことばについてそれぞれ簡潔に説明してみよう。

a．核家族
(　　)
b．直系家族
(　　)
c．事実婚
(　　)

(3)　核家族に祖父母・おじ・おばなどの他の親族が加わった家族は何と呼ばれるだろうか。
(　　)

2 応用 多様な家族としての結びつきかたや住まいかたの例をイラストで示し，その生活のようすについて創作してみよう。

イラスト	生活のようす	イラスト	生活のようす

3 基本 下のグラフは，わが国の世帯構成割合と世帯総数，平均世帯人員の推移を示している。このグラフから読み取れる家族の動向をまとめてみよう。また，そのような家族の動向の背景として考えられることをまとめてみよう。

●グラフから読み取れる家族の動向

●家族の動向の背景として考えられること

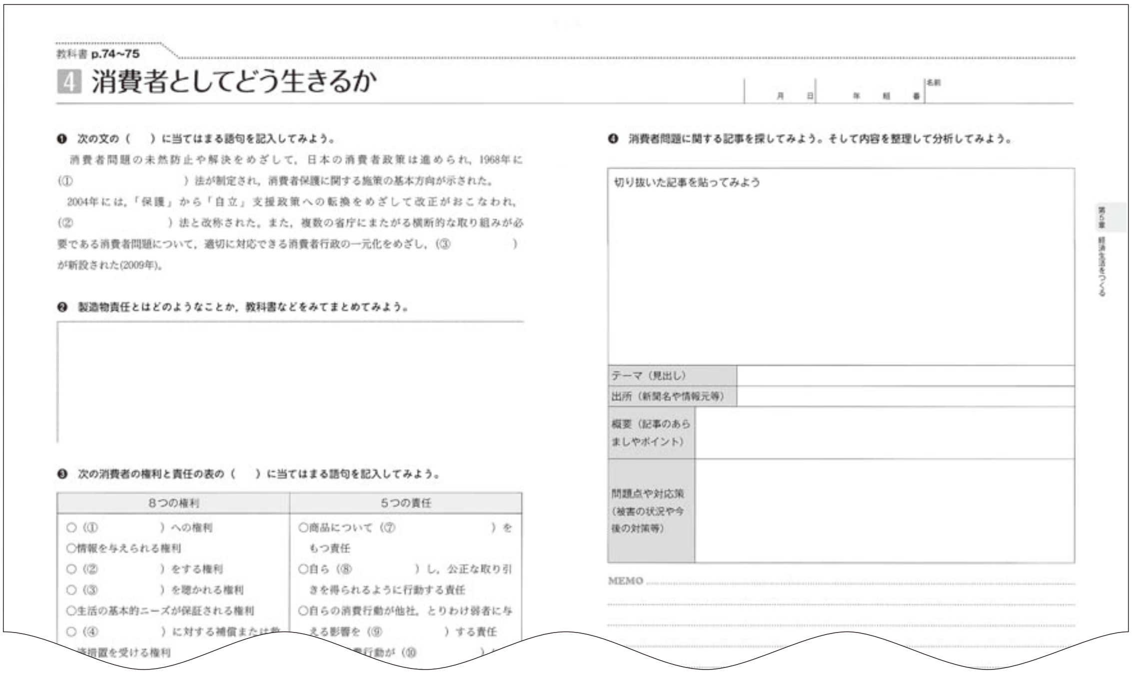
4 実践 あなたが住んでいる自治体の世帯構成割合や世帯の家族類型別世帯数を調べてみよう。どのような特徴があるだろうか。

調べた自治体（　　）

参考　国勢調査の結果は，各自治体のWebページなどでも…ることができ…

第1章　人生をみつめる

▲家庭総合 [家総 305] 学習ノート



教科書 p.74~75

4　消費者としてどう生きるか

月　日　年　組　番　名前

❶　次の文の（　）に当てはまる語句を記入してみよう。

消費者問題の未然防止や解決をめざして，日本の消費者政策は進められ，1968年に (①　　) 法が制定され，消費者保護に関する施策の基本方向が示された。

2004年には，「保護」から「自立」支援政策への転換をめざして改正がおこなわれ，(②　　) 法と改称された。また，複数の省庁にまたがる横断的な取り組みが必要である消費者問題について，適切に対応できる消費者行政の一元化をめざし，(③　　) が新設された(2009年)。

❷　製造物責任とはどのようなことか，教科書などをみてまとめてみよう。

❸　次の消費者の権利と責任の表の（　）に当てはまる語句を記入してみよう。

8つの権利	5つの責任
○ (①　　) への権利 ○情報を与えられる権利 ○ (②　　) をする権利 ○ (③　　) を聴かれる権利 ○生活の基本的ニーズが保証される権利 ○ (④　　) に対する補償または救…済措置を受ける権利	○商品について (⑦　　) をもつ責任 ○自ら (⑧　　) し，公正な取り引きを得られるように行動する責任 ○自らの消費行動が他社，とりわけ弱者に与える影響を (⑨　　) する責任 …費行動が (⑩　　) …

❹　消費者問題に関する記事を探してみよう。そして内容を整理して分析してみよう。

切り抜いた記事を貼ってみよう

テーマ（見出し）	
出所（新聞名や情報元等）	
概要（記事のあらましやポイント）	
問題点や対応策（被害の状況や今後の対策等）	

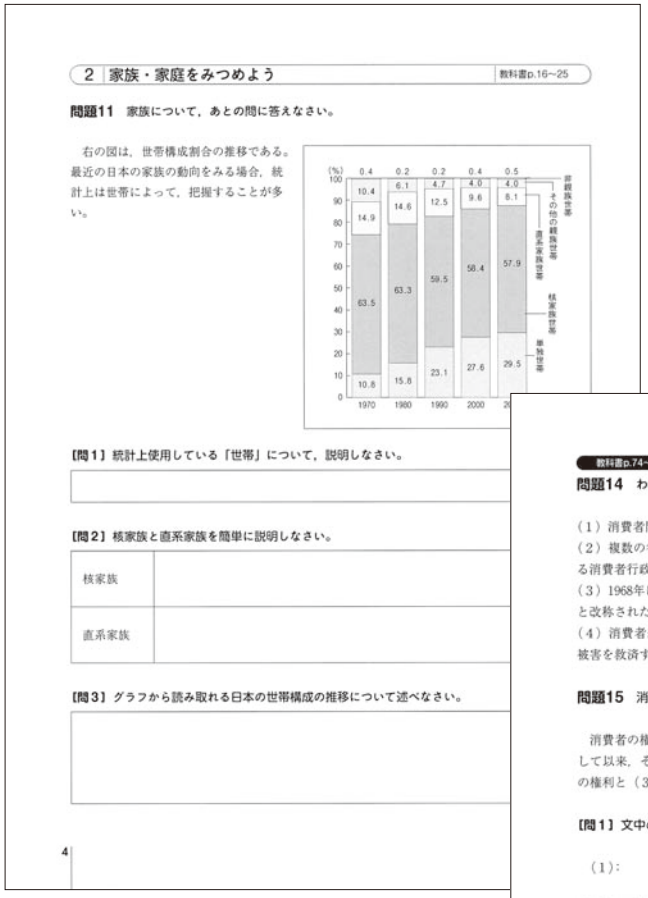
MEMO

第5章　経済生活をつくる

▲家庭基礎 [家基 309] 授業ノート

評価問題例集

教科書準拠の教師用評価問題例集。評価問題例集の問題に加え，教科書本文・図表等も収録した，加工・編集に便利な CD-ROM も。



2　家族・家庭をみつめよう　教科書p.16～25

問題11　家族について，あとの問に答えなさい。

右の図は，世帯構成割合の推移である。最近の日本の家族の動向をみる場合，統計上は世帯によって，把握することが多い。

【問1】統計上使用している「世帯」について，説明しなさい。

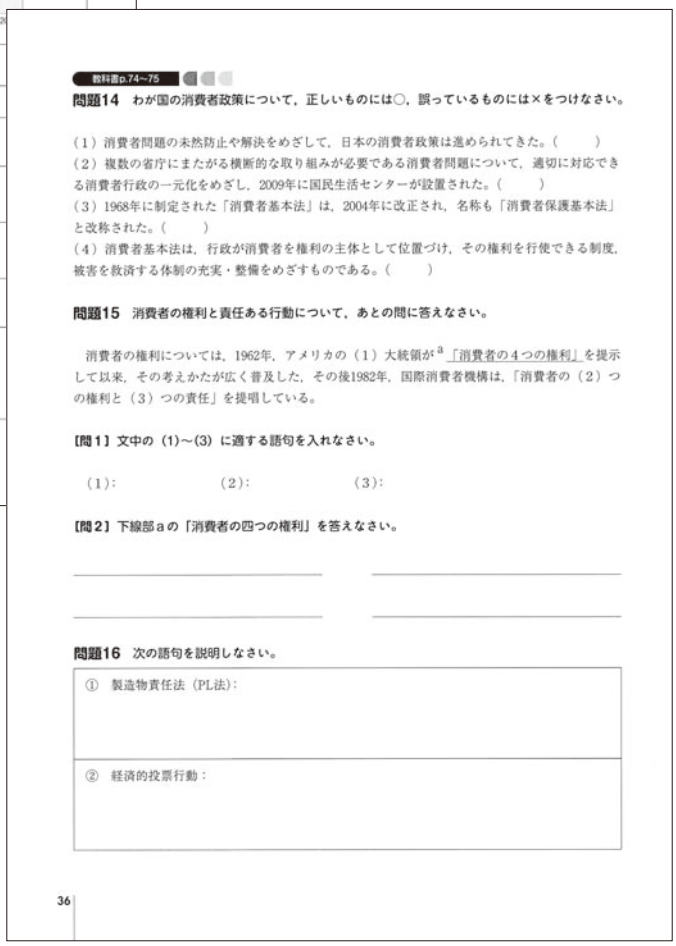
【問2】核家族と直系家族を簡単に説明しなさい。

核家族	
直系家族	

【問3】グラフから読み取れる日本の世帯構成の推移について述べなさい。

4

◀家庭総合［家総 305］評価問題例集



教科書p.74～75

問題14　わが国の消費者政策について，正しいものには○，誤っているものには×をつけなさい。

（1）消費者問題の未然防止や解決をめざして，日本の消費者政策は進められてきた。（　　）
（2）複数の省庁にまたがる横断的な取り組みが必要である消費者問題について，適切に対応できる消費者行政の一元化をめざし，2009年に国民生活センターが設置された。（　　）
（3）1968年に制定された「消費者基本法」は，2004年に改正され，名称も「消費者保護基本法」と改称された。（　　）
（4）消費者基本法は，行政が消費者を権利の主体として位置づけ，その権利を行使できる制度，被害を救済する体制の充実・整備をめざすものである。（　　）

問題15　消費者の権利と責任ある行動について，あとの問に答えなさい。

消費者の権利については，1962年，アメリカの（1）大統領が[a]「消費者の４つの権利」を提示して以来，その考えかたが広く普及した，その後1982年，国際消費者機構は，「消費者の（2）つの権利と（3）つの責任」を提唱している。

【問1】文中の（1）～（3）に適する語句を入れなさい。

（1）：　　（2）：　　（3）：

【問2】下線部aの「消費者の四つの権利」を答えなさい。

問題16　次の語句を説明しなさい。

① 製造物責任法（PL法）：

② 経済的投票行動：

36

家庭基礎［家基 309］評価問題例集▶

★（仮称）家庭科評価問題自動作成ソフト［CD-ROM：１枚・Windows 対応のみ］

教科書対応の問題 1,000 題から，難易度別に応じて問題を検索し，ＷＯＲＤで編集できるようにしたソフト。オリジナルの評価問題や授業プリント作成ができます。

授業に生きる１冊

パワーアップ！ 家庭科

学び、つながり、発信する

荒井紀子 ［編著］
鎌田浩子/亀井佑子/川邊淳子/川村めぐみ/齋藤美保子/
新山みつ枝/鈴木真由子/長澤由喜子/野中美津枝/
広岡守穂/広岡立美/綿引伴子 ［著］

2013(平成25)年度から，新学習指導要領での授業が始まる。

家庭科は，２単位の「家庭基礎」と４単位の「家庭総合」「生活デザイン」の３科目から選択履修という枠組みはこれまでと同様だが，学習の組み立て方や配慮する点に，いくつか注目すべき新たな強調点がある。

その主なものを挙げてみると，「問題解決的な学習」「異年齢の人と触れあい，他者とかかわる力を高める活動」「生活における事象を言葉や概念を用いて考察する活動」「判断が必要な場面を設けて理由や根拠を論述したり探究したりする活動」を充実させる[1]というものだ。つまり，探究的な学習を通して思考力，判断力，表現力を磨き，他者とかかわりながら問題を解決する力を育てることをめざしている。

そうはいっても，具体的にどう授業を創っていったらよいのだろうか。生徒の生活自立の力は弱まるばかりで，生活への関心も総じて弱く，また何よりも，少ない時間数で，最低限の知識を教えるだけでも精一杯なのに…，だいたい問題解決学習や思考力を深める授業といっても，これまであまりやったことがないし，どうしたらよいのかわからない…。これは大方の教師の偽らざる気持ちではないだろうか。そして，現状の授業時間の少なさ，教員配置の不十分さからいっても，それはもっともな想いといえる。

その一方で，教育全体を俯瞰したとき，生徒たちの自立力の弱さ，問題解決力や思考力，判断力，表現力の弱さに対し，生徒自身の生活を対象とする家庭科が大きな可能性をもつ教科であることも事実である。実際に，困難な中でも探究的な学習をやってみて，子どもからの手応えを感じ，このことを実感した先生方も少なくないはずだ。しかしそれにしても，悩ましい…。

本書は，このような，先生方が今一番知りたいこと，考えたいことに焦点を当て，新学習指導要領にむけて，さらにその先の家庭科の時間増，そしてそれを可能にする教師自身のパワーアップにむけて，「学び，つながり，発信する」をキーワードに執筆編纂したタイムリーな１冊である。

内容は大きく３部で構成されている。

「**第Ⅰ部　家庭科はおもしろい**」は，明日の生活者を育てる教科の特性を整理するとともに，家庭科で育てたい学力と世界標準の学力，学習指導要領との関係についてわかりやすく述べている。

「**第Ⅱ部　家庭科のいま**」は，全国16都道府県の教育課程の調査や，621校の家庭科教師への質問紙調査をもとに，現時点で最も新しく広範な家庭科の実像を描き出している。また調査紙に記された教師の生の声を収録している。先生方の想いの溢れた貴重な声に耳を傾けていただけたらと思う。

「**第Ⅲ部　これからの家庭科**」では，冒頭で述べたような新しい家庭科学習をどうデザインしたらよいか，理論と実践の両面から述べている。カリキュラムの新たな理論的枠組みを提示するとともに，その枠組みのもとで考案(実施)した９つの授業を掲載し，また家庭科室をどう魅力的な場所にするか，米国や北欧の例も含め，国内外の事例を豊富な写真例を添えて紹介している。さらに地域とどうつながるか，教師同士のネットワークをどう作っていくか，長年，工夫を重ね，つながりや深まりを創りあげてきた全国の教師たちの貴重な実践と足取りを報告している。

各学校の来年度のカリキュラムを考えながら，一人でじっくり読まれるのもいいだろう。また仲間同士や地域の学習会などで一緒に読んで議論するのもいいのではと思う。家庭科の「いま」を理解し，「これから」の家庭科を考える座右の書として，そして何よりも私たち自身がパワーアップする手立てとして，『頼り』になる一冊であると，執筆者一同，確信している。

（編著者　福井大学　荒井紀子）

［注］1)高等学校学習指導要領解説家庭編，平成22年５月，文部科学省，p.53

判型・頁　A5判・208頁
定　　価　2,100円
　　（本体2,000円）
発 行 所　大修館書店

エッセイ・和のある暮らし⑫

育て，食べる楽しみ

石橋富士子

文・イラスト／いしばし・ふじこ
イラストレーター。女性誌，教科書などの挿絵，イラスト，エッセイや手作り小物，半襟デザイン（和キッチュ）など多彩に創作している。「家庭科通信」の表紙イラストも創刊時から手がけている。著書に『知識ゼロからの着物と暮らす入門』（幻冬舎），『ぺたこさんの手作り生活』（フィールドワイ）などがある。ブログ「着物と和力（わ・ちから）」（http://petacokimo.exblog.jp/）も更新中。

家庭菜園がブームです。花の寄せ植え「コンテナガーデン」の流行の後，今は「野菜栽培」が注目を集めています。

我が家でも小さな庭と，コンテナなども動員し，所狭しと野菜と花が同居しています。

梅，無花果，山椒，葡萄，サルナシ，ラズベリー，ブラックベリーなどの果樹，そして野菜はサラダ用の各種葉物，トマトやオクラ，茗荷，インゲンやニンニクまで，思いつくままにごちゃごちゃと育てています。

２月，寒い寒いとばかり思っている頃，枯れたような葡萄の枝先がぽっちりと膨らむと，春の予感を感じ，つややかな山椒の新芽は，寒さですっかり縮まった背筋をシャンとさせてくれます。

山椒や茗荷，大葉などはちょっと添えるとお料理がぐっと引き立つ日本のハーブ。使うときは少量なので，コンテナや路地植えなどにしておくと新鮮なものを使えてオススメです。

その代わり手をかけてあげないといけません。

夏場は毎日セッセと水やり。ちょっとでも怠ると，とたんにしっぺ返しがきますので，枯らさないように朝夕水を運びます。

野菜の花後，サヤや実が段々大きくなり色づいて，やがて収穫となります。野菜を育てる一番の醍醐味は，なんといってもこの瞬間です。

採れるものは野菜の気分次第，カゴ一杯の収穫物は思わず写真を撮って，ブログにアップしたくなるような達成感を与えてくれます。

かつて，江戸の人々は園芸や野菜作りにいそしんでいたようです。苗売りの行商が行き交い，長屋の脇や入り口横，垣根などを利用して野菜などを育てていました。

空き地などで見かけることの多いドクダミは，利尿作用，動脈硬化の予防，湿疹，かぶれによいとされる薬草です。単に繁殖力が強いだけではなく，積極的に増やしていたのだと聞きました。

歌舞伎の「夏祭り浪花鏡」の舞台には井戸端の垣根に実る南瓜の実が，夏の暑さを見事に演出し，とても印象的でした。

今年は南瓜を育ててみようかな。

新しい動き

平成22年
国民健康・栄養調査結果

▲2012年１月に，平成22(2010)年11月に実施した「国民健康・栄養調査」の結果が公表された。

国民健康・栄養調査は，健康増進法にもとづいておこなわれる調査である。国民の身体の状況，栄養素等摂取量，生活習慣の状況についての基礎資料を得ることが目的で，調査項目は，毎年継続しておこなわれる調査のほか，その年だけの特集的におこなわれる調査があるが，今回は平成22年度に特集的に調査された「所得と生活習慣等に関する状況」と「都道府県別の肥満及び主な生活習慣の状況」を抜粋してご紹介する。

▩□所得と生活習慣等に関する状況(20歳以上)

※世帯の所得額を当該世帯員に当てはめて解析　　※★は600万円以上の世帯の世帯員と比較して，差のあった項目

		世帯所得200万円未満		世帯所得200万円以上～600万円未満		世帯所得600万円以上		200万円未満**	200万円以上～600万円未満**
		人数	割合または平均*	人数	割合または平均*	人数	割合または平均*		
体　型	1．肥満者の割合(男性)	380	31.5%	1,438	30.2%	600	30.7%		
	(女性)	587	25.6%	1,634	21.0%	686	13.2%	★	★
食生活	2．習慣的な朝食欠食者の割合(男性)	499	20.7%	1,900	18.6%	816	15.1%	★	★
	(女性)	718	17.6%	2,038	11.7%	878	10.5%	★	
	3．野菜摂取量(男性)	455	256g	1,716	276g	755	293g	★	★
	(女性)	678	270g	1,880	278g	829	305g	★	★
運　動	4．運動習慣のない者の割合(男性)	302	70.6%	1,050	63.7%	381	62.5%	★	
	(女性)	492	72.9%	1,315	72.1%	505	67.7%	★	★
たばこ	5．現在習慣的に喫煙している者の割合(男性)	497	37.3%	1,896	33.6%	815	27.0%	★	★
	(女性)	719	11.7%	2,034	8.8%	877	6.4%	★	★
飲　酒	6．飲酒習慣者の割合(男性)	497	32.6%	1,898	36.6%	816	40.0%	★	
	(女性)	719	7.2%	2,037	6.4%	877	8.0%		
睡　眠	7．睡眠の質が悪い者の割合(男性)	499	11.1%	1,900	11.8%	816	10.8%		
	(女性)	718	15.9%	2,037	15.4%	878	11.4%		★

＊年齢と世帯員数で調整した値　　＊＊世帯の所得について600万円以上を基準とする多変量解析(割合に関する項目はロジスティック回帰，平均値に関する項目は線形回帰)を実施

[参考] 調査対象世帯数(%)：総数3,189(100)，200万円未満733(23.0)，200万円以上～600万円未満1,787(56.0)，600万円以上669(21.0)

1．肥満者の割合は，男性では差がみられず，女性では200万円未満と200～600万円未満の世帯で高かった。
2．習慣的な朝食欠食者の割合は，男性では200万円未満と200～600万円未満の世帯で高く，女性では200万円未満の世帯で高かった。
3．野菜摂取量は，男女とも200万円未満と200～600万円未満の世帯で少なかった。
4．運動習慣のない者の割合は，男性では200万円未満の世帯で高く，女性では200万円未満と200～600万円未満の世帯で高かった。
5．現在習慣的に喫煙している者の割合は，男女とも，200万円未満と200～600万円未満の世帯で高かった。
6．飲酒習慣者の割合は，男性では200万円未満の世帯で低く，女性では差がみられなかった。
7．睡眠の質が悪い者の割合は，男性では差がみられず，女性では200万円未満と200～600万円未満の世帯で高かった。

1．所得と生活習慣等に関する状況

世帯の所得を３区分(200万円未満，200万円以上～600万円未満，600万円以上)に分け，年齢，世帯員数を調整したうえで，世帯の所得が600万円以上の世帯員を基準として，200万円未満，200万円以上～600万円未満の世帯員の生活習慣等(体型，食生活，運動，たばこ，飲酒，睡眠)の状況を比較した(▩1)。

2．都道府県別の肥満およびおもな生活習慣の状況

平成18～22年(５年分)のデータを用いて，肥満およびおもな生活習慣の状況について高い方から低い方に４区分に分け，上位(上位25%)群と下位(下位25%)群の状況を比較した結果，肥満者の割合，現在習慣的に喫煙している者の割合および飲酒習慣者の割合については，上位群と下位群ではおおむね10%程度，また歩数については1,000歩以上など，地域格差がみられた(▩2，3)。

▩2都道府県別の肥満および生活習慣の状況

※都道府県別データを並べて，高い方から低い方に４区分に分け，上位25%の群を上位群，下位25%の群を下位群とした

		全国平均	都道府県の状況(%)	
			上位群	下位群
1．肥満者(男性)の割合(%)		31.1	39.7	25.2
2．野菜摂取量(g/日)	男性	301	339	272
	女性	285	321	253
3．食塩摂取量(g/日)	男性	11.8	12.7	11.0
	女性	10.1	10.8	9.4
4．歩数(歩/日)	男性	7,225	7,659	6,271
	女性	6,287	6,613	5,551
5．現在習慣的に喫煙している者(男性)の割合(%)		37.2	42.2	33.5
6．飲酒習慣者(男性)の割合(%)		35.9	43.3	31.4

肥満者の割合，現在習慣的に喫煙している者の割合および飲酒習慣者の割合の女性の都道府県別データについては，該当者の割合が少なく，変動係数が大きいため，解析から除いた。

▩3　都道府県別の順位(上位５と下位５)

肥満者の割合(男性20～69歳，%)

	男性	
1	沖縄県	45.2
2	宮崎県	44.7
3	栃木県	40.5
4	福島県	40.3
5	徳島県	40.1
43	静岡県	25.2
44	鳥取県	25.1
45	滋賀県	23.0
46	福井県	22.5
47	山口県	22.1

野菜摂取量(20歳以上，平均値g/日)

	男性		女性	
1	長野県	379	長野県	353
2	新潟県	360	山梨県	336
3	山形県	352	福井県	335
4	福島県	350	山形県	334
5	福井県	349	新潟県	327
43	北海道	272	佐賀県	253
44	佐賀県	270	沖縄県	249
45	沖縄県	266	和歌山県	243
46	香川県	266	徳島県	241
47	徳島県	245	香川県	229

歩数(20歳以上，平均値 歩/日)

	男性		女性	
1	兵庫県	7,964	兵庫県	7,063
2	東京都	7,866	神奈川県	6,988
3	神奈川県	7,796	東京都	6,949
4	奈良県	7,787	奈良県	6,688
5	千葉県	7,761	静岡県	6,504
43	秋田県	6,232	山形県	5,618
44	和歌山県	6,178	栃木県	5,448
45	新潟県	6,005	鳥取県	5,285
46	青森県	5,976	秋田県	5,174
47	鳥取県	5,634	山梨県	5,152

＊詳細は，厚生労働省Webページ「平成22年国民健康・栄養調査結果の概要」Http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/2r98520000020qbb.html で閲覧できます。

Key Word ―― キーワード

ゲートキーパー

ゲートキーパーとは，本来門番のことで，転じて交通・通信の監視・管理人等をさしたりするが，最近，**悩んでいる人に気づき，声をかけ，話を聞いて，必要な支援につなげ，見守る人のこと**をこう呼んで，年間３万人ともなる自殺対策の一つとしている。

内閣府の共生社会政策では，ゲートキーパーの役割として，「気づき」(家族や仲間の変化に気づいて，声をかける)，「傾聴」(本人の気持ちを尊重し，耳を傾ける)，「声かけ」(悩んでいることに気づいたら，声をかける)，「つなぎ」(早めに専門家に相談するよう促す)，「見守り」(温かく寄り添いながら，じっくりと見守る)等をあげるとともに，自殺対策の基本を示した「ゲートキーパーQ&A」や専門家むけの「ゲートキーパー養成研修用テキスト」等を作成している。そして自殺対策には，まわりの人が大切な人の悩みに気づくことが重要であり，「命の門番になるのは，みんなです」と呼びかけている。

●詳細は，内閣府共生社会政策自殺対策Webページ(http://www8.cao.go.jp/jisatsutaisaku/index.html)参照。

ハンガーマップ

飢餓とは，必要なエネルギーを摂取できない状態で，ハンガーマップは，国際連合世界食糧計画(WFP)が，国際連合食糧農業機関(FAO)の統計にもとづき作成した，**世界の飢餓状況を，栄養不足人口の割合により，国ごとに５段階で色分けして表現したもの**(▩1)。WFPは国連唯一の食糧支援機関で，飢餓と貧困の撲滅を使命として，1963年から正式に活動を始めている。地図中，飢餓人口の割合がもっとも高い「５」(地図では赤茶色)に分類された国(エチオピア，コンゴ，モザンビーク等)では，全人口の35%以上もの人々が栄養不足の状態に陥っている。世界では，およそ７人に１人，計９億2,500万人が飢餓に苦しんでおり，これは北米とヨーロッパの人口をあわせた数とほぼ同じである。ハンガーマップには，「子ども１人につき，１日およそ30円で，栄養たっぷりの給食を届けることができます」と記され，WFPでは，個人からの募金やボランティア等も募っている。

●詳細は，国連世界食糧計画Webページ(http://www.wfp.or.jp/kyokai/hunger.html)参照。

▩1飢餓状況の分類とハンガーマップ(イメージ)

分類	栄養不足の人口の割合	栄養不足度
5	35%以上	非常に高い
4	20～34%	やや高い
3	10～19%	やや低い
2	5～9%	非常に低い
1	5%未満	極端に低い

(地図は分類段階によって色分けされている)

[注] 地域別にみると，アジア・太平洋地域：５億7,800万人，サハラ砂漠以南のアフリカ：２億3,900万人，中南米：5,300万人，中東・北アフリカ：3,700万人。飢餓に苦しむ人の約75%は，途上国の農村部に住む貧しい農民であり，残りの25%は途上国の大都市周辺の貧しい地域に住む人たち。最近では，世界で都市部に住む人が増加しているのにともない，都市部の飢餓人口が増えている。

Question & Answer

Q：ディーセント・ワークということばを耳にしたのですが，どのようなことを意味することばなのでしょうか。

A：ディーセント(decent)とは，「ちゃんとした」「まともな」「適正な」という意味の単語です。そしてディーセント・ワーク(Decent work)とは，「働きがいのある人間らしい仕事」と訳されることが多いことばです。激しい経済競争のために，働く人の権利の軽視や所得格差の拡大，失業率の増加などの深刻な問題を改善すべく，1999年の国際労働機関(ILO)総会で，はじめて用いられた概念です。ここ10年くらいで使われ始めた新しいことばですが，ILO活動の主たる目標の今日的な表現であると位置づけられています。

ILOのホームページには，ディーセント・ワークについて，次のようにまとめられています。

「ディーセント・ワーク(働きがいのある人間らしい仕事)とは，人々の働くうえでの希望を集大成した概念である。これは，生産的で，公正な収入を与える仕事に就く機会，職場における安全と家族に対する社会的保護，個人の育成と社会的統合に向けたよりよい展望，人々が自分たちの懸念を表明し，団結し，自分たちの生活に影響する決定に参加する自由，すべての男女の機会と待遇の均等をともなうものである。」

これを受け，日本政府としては，次のように整理しています。

「ディーセント・ワーク(働きがいのある人間らしい仕事)とは，人々が働きながら生活している間に抱く願望，すなわち，①働く機会があり，持続可能な生計に足る収入が得られること，②労働三権などの働くうえでの権利が確保され，職場で発言がおこないやすく，それが認められること，③家庭生活と職業生活が両立でき，安全な職場環境や雇用保険，医療・年金制度などのセーフティーネットが確保され，自己の鍛錬もできること，④公正な扱い，男女平等な扱いを受けること，といった願望が集大成されたものである。

ディーセント・ワークの実現を図るためには，①ILOで制定された労働に関する国際的な基準(条約等)の適用状況，②雇用と収入の確保の状況，③社会的保護や社会保障の適用状況，④政労使三者を含む関係者による対話促進の状況，の４つの状況に照らして，国内事情等に応じ，それぞれに達成可能な目標を立てることが重要である。」

日本政府としては，ディーセント・ワークの概念の普及に努めるとともに，種々の労働政策を推進することにより，ディーセント・ワークの実現に努めています。2010年６月に閣議決定された「新成長戦略～『元気な日本』復活のシナリオ」においてもディーセント・ワークの実現が盛り込まれています。

ディーセント・ワークとは，●安心して一生暮らしていくための，社会保障や福利厚生，年金制度などが整っている，●だれもが安心して働ける勤務時間や休暇制度等の労働環境が整っている，●それなりの報酬が得られ，子どもに教育を受けさせ，育てることができる，●健康や精神面等がおかされることのない勤務体系や目標設定等がある，●働きがい，やりがいを見出せる，●自らの知識・能力・技能が伸ばせる，などの条件が揃ったものといえるでしょう。

日本では，事実上労働時間の上限が定められていない，最低賃金が他の先進国よりも少ない傾向にある，不安定な派遣労働等の労働形態が存在している，など解決すべき問題が多いのが現状です。

「子どもに教育を受けさせ，家族を扶養することができ，30～35年ぐらい働いたら，老後の生活を営めるだけの年金などがもらえるような労働」であるディーセント・ワークは，単に雇用者のために生まれたスローガンというだけではなく，今後，少子高齢化の人口減少社会が訪れるなかにあって，国や企業がよりよい成長を遂げるためにも，大切な取り組みとなることばといえるでしょう。

通巻48号
家庭科通信
2012年・２号
2012年５月25日発行

編集人　©大修館書店「家庭科通信」編集部
発行人　鈴木一行
発行所　株式会社大修館書店
〒113-8541　東京都文京区湯島2-1-1
Tel(03)3868-2266(編集部)／(03)3868-2651(販売部)
振替　00190-7-40504　印刷・製本　壮光舎印刷
［出版情報］http://www.taishukan.co.jp
［家庭科情報室］http://www.taishukan.co.jp/kateika/

表紙イラスト・石橋富士子

家庭科への参加型アクション志向学習の導入

【22の実践を通して】

編著者❖中間美砂子
著者❖小椋さやか、久保田まゆみ、小谷教子、坂本理恵子、真田知恵子、新山みつ枝、野中美津枝、踏江和子

●B5判・179頁
定価2,100円（本体2,000円）
ISBN4-469-27001-6

生徒が実際に行動することを通して能動的に学ぶ「参加型アクション志向学習」を取り入れた家庭科の授業例を22の実践から具体的に紹介。

せりふ完成法、アンケート調査、ランキング法、ロールプレイ、ワークショップ　etc.……生徒が実際に行動することを通して能動的に学ぶ「参加型アクション志向学習」を取り入れた家庭科の授業例を高等学校における22の実践例から具体的に紹介。授業の実際がわかるプリントやワークも掲載。中学校や小学校での実践にも適用できるヒント満載。

大修館書店　書店にない場合やお急ぎの方は、直接ご注文ください。☎03-3934-5131

老化の実際とその予防を知るために

ことばのエイジング

ことばと脳と老化の科学

Tatsumi Itaru
辰巳 格[著]

人の名前が出てこない？　都合の悪いことは聞こえない？　話す力、聞く力、そして知能自体は、どう歳をとるのだろうか。コミュニケーション力を保つには、どんな予防法があるか。高齢化社会をよりよく生きるため、退職後も自分らしくあるためのエイジング・ガイド。

【主要目次】**エイジング＝加齢とは何か／言語能力のエイジング／脳と身体のエイジング／コミュニケーション能力を保つには**

◉四六判・240頁
定価1,680円（本体1,600円）

大修館書店　書店にない場合やお急ぎの方は、直接ご注文ください。☎03-3934-5131

家庭科通信
第48号
2012年5月25日発行
〒113-8541
東京都文京区湯島2-1-1
株式会社大修館書店
定価320円（本体305円）

家庭科のいまをみつめ、これからをつくる

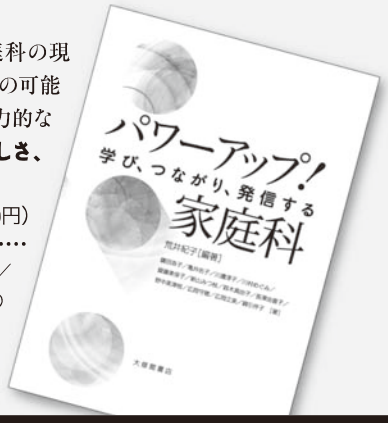
パワーアップ！家庭科

―学び、つながり、発信する

荒井紀子［編著］

全国規模の調査等をもとに、都道府県ごとに異なる高校家庭科の現状を分析し、家庭科教師の生の声を収載するとともに、家庭科の可能性やおもしろさを探り、教師のパワーアップをはかるような魅力的な取り組みの実践例を多数紹介。**学ぶおもしろさ、つながる楽しさ、発信する醍醐味を伝える、これからの家庭科をつくる一冊。**

◉A5判・208頁 **定価2,100円**（本体2,000円）



【目次より】**第Ⅰ部 家庭科はおもしろい**［家庭科のもつ現代的意味／家庭科へのエール］ **第Ⅱ部 家庭科のいま**［家庭科の役割／家庭科の実像／教師は家庭科をどうとらえているか／…］ **第Ⅲ部 これからの家庭科**［新しい家庭科をどうつくる／新しい家庭科の授業／家庭科を学ぶおもしろさ、楽しさを演出しよう／…］

大修館書店　書店にない場合やお急ぎの方は、直接ご注文ください。☎03-3934-5131

肥満とメタボリックシンドローム・生活習慣病

井上修二、上田伸男、岡 純［監修］

どうして肥満になってしまうのか？ 肥満になると体の中はどのような状態になるのか？ 肥満にならないようにするには？ 肥満はどうすれば治せるのか？ 肥満の原因から肥満の分類、生活習慣病との関係、メタボリックシンドローム、肥満の予防と解消法、肥満症の治療に至るまで、肥満について一挙に解説します。

【主要目次】はじめに…**肥満が増えた？**／第1章…**肥満と肥満症**／第2章…**肥満と生活習慣病**／第3章…**メタボリックシンドローム**／第4章…**肥満にならないために**／第5章…**肥満の正しい解消法**／第6章…**肥満症・メタボリックシンドロームを治す**

もともとヒトは太りやすい!!

◉四六判・208頁 **定価1890円**（本体1800円）

大修館書店　書店にない場合やお急ぎの方は、直接ご注文ください。☎03-3934-5131

ISSN 1342-4637